

科目	実験動物学		
担当講師	津田 圭子		
実務経験有	獣医師免許 大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し公衆衛生研究部門に従事		
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 2 年次後期後半	講義	必修	15
授業目標	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験とのかかわりについて理解する。		
授業概要	実験動物の役割や関連法規その取扱いについて学ぶ。		
成績評価の方法	評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。		
教 材	動物看護コアテキスト 4 巻 動物の行動と健康管理 (P120～181 ファームプレス)、講師資料		
授業計画	毎週月曜日 1 限目 9:10～10:40		
回	テーマ	授業内容	
1	実験動物・産業動物の授業ガイダンス 実験動物①	実験動物の定義と役割・歴史的背景を知る。	
2	実験動物②	実験動物関係法規と栄養・飼養、飼育管理法を知る。	
3	実験動物③	〃	
4	実験動物④	〃	
5	実験動物⑤	実験動物の種類と小型げっ歯類の実験の手技と実験道具について学ぶ。	
6	実験動物⑥	〃	
7	まとめ	小テスト	